

プール掃除ありがとう

うーん、ドブくさい匂い。これを掃除するのかなと思うと、少々気が遠くなるような状態でした。5月22日5、6時間目、今年もプール開きに向けて、5・6年生によるプール掃除を行いました。この日のプール掃除がスムーズに行くように、前の週から、企画運動委員会の子供たちが、掃除の下準備を進めてくれました。おかげで予定通りに、終わることができています。ドブくさい匂いもなくなりました。高学年の動き、ここでもとてもよかったですね。

プール開き(今年度初使用)を6月1日に6年生でと計画しておりましたが、水質検査の結果、塩素濃度等の水質が安定しておらず延期しました。時間割の都合上、初使用は6月7日の5年生となりました。



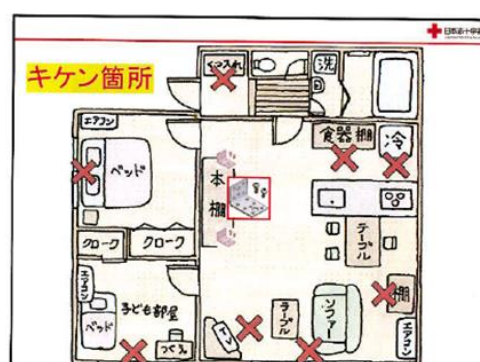
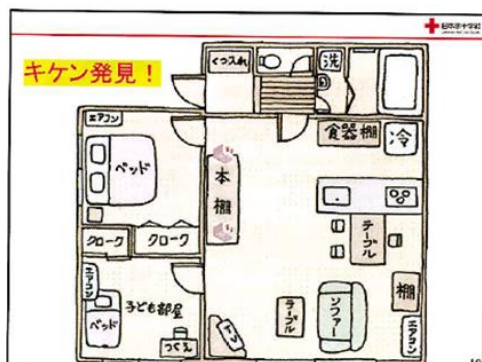
たった25分と言うなかれ

5月24日、今年度初めての5年生オンライン英会話でした。自分のタブレット端末を使って5年生教室で実施したことが昨年度との違いです。昨年度までは、PC室にて備え付けの端末でオンライン英会話は実施されておりました。45分のうち、外国の人(ネイティブ)と話す時間は25分間です。たった25分間と思いがちですが、相手は全く日本語が通じません。私(校長)も過去、15分間体験させてもらったことがありますが、15分が長いこと長いこと。相当な集中力を要しました。終わったあと「予想していた以上に楽しかった」「意外と(意思が)通じた」とロクに言う子供たち。「英語を使わなきゃ」と思ってしまう大人より、子供の方がbodylanguage(ボディランゲージ)など雰囲気コミュニケーションを楽しめるようです。



うちのキケン

今年も6年生を対象に青少年赤十字の方による防災学習を行いました。この数年だけを見ても、地震や豪雨などの災害の10件に7件は、子供が自宅にいる時間帯に起きていることを教えていただきました。このことを踏まえて、今回、新たに行われたプログラムが「うちのキケン」。考えることを中心としたプログラムです。「倒れてキケン」「落ちてキケン」「動いてキケン」「割れてキケン」の4つのキケンが考えられるとのことでした。一つの間取り図を見ながらどのような「キケン」が考えられるか、子供たちが話し合う様子が印象的でした。下に使われた資料の1枚を掲載します。×がついているところは、何がキケンか分かりますか？6年生は分かりますよね。

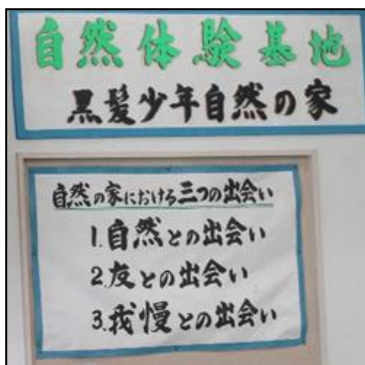


不自由の中にある楽しさ

2週間前から天気予報とにらめっこの日々が続きました。6月1日から2日にかけて、5年生の自然教室を実施しました。場所は、黒髪少年自然の家(武雄市山内町)。初日に予定していた登山は、雨こそ降っていませんでしたが、雷注意報が出ていたこともあり、「わんぱく大冒険」に変更しました。林の中に作られたゲームや課題をクリアしながら進みます。私(校長)も子供と一緒に回りましたが、少々なめてました。道は迷いそうになるわ、岩場は登るわ、私には登山と変わらぬきつさでした。予定の登山だったらと思うとぞっとしました。その後のプログラムも雨の影響をほとんど受けず実施できました。

出発前の子供たちへの校長ミッション、「不自由さを学ぶ」。何をするにしても普段の生活通りにはいきません。箸を持ったままじっと食事を見つめる子、プールと勘違いして浴場でカミナリを落とされる子、環境が変わってなかなか寝付けない子、朝の4時からドカドカ騒いで一喝される子・・・etc。

実際に今回の全国的な大雨で、昨日まで普通の生活を送っていたのに、突然不自由な生活を余儀なくされた方々が大勢おられます。不自由さにも人は負けないこと、不自由さの中に楽しさを見いだすことなど、ほんの少しでもよいので気付いてほしいと願った2日間でした。



校長のひとりごと

「私、晴れ男だからなんとかなるよ。」完全に雨予報だった自然教室の前、そう言い切っていました。

何の根拠もありません。

当日、これなら登山もできるんじゃないかっていう天気でしたが、安全第一でプログラム変更。野外活動から帰ってきた途端、大粒の雨。「うわあ、集会場から宿泊棟への移動だけでもずぶ濡れになりそう」って言うていたら、その時にはパタリと止んで。2日目(6月2日)は、朝から県内大雨警報で、さすがに前夜に代替プログラムを検討しながらも、朝になったら雨雲は黒髪の地をさけるように通っていて。「校長先生、ほんとに晴れ男なんですね!」って。帰校後、6年担任が「修学旅行も大丈夫ですね!」って、キラキラした目で言うて。

私はこの先、神頼みしかありません。もし雨が降ったら、「私(晴れ男)に勝る雨男、雨女がいる」って、誰かのせいにするしかありません。

